



さいたま市議会 令和8年2月定例会 活動報告

さいたま市 令和8年度予算案が決定! 私たちの暮らしはどう変わる?

皆様、こんにちは。さいたま市議会議員のさいとう健一です。さいたま市の「令和8年度予算案」が発表され、一般会計は「7,160 億円」、全会計総額「1 兆 2,000 億円」と過去最大の予算規模となりました。今回は、この予算の中から、皆様の生活に直接関係する「新規事業」や「拡充事業」を厳選してご報告します。誰もが安心して暮らせるまちづくりが、大きく動き出します!



予算委員会にて質疑する、さいとう健一市議会議員

令和8年度予算案の注目ポイント (新規事業・重要事業をピックアップ)

1 子育て・教育の充実(子育て楽しいさいたま市へ)

【完全無償化】市立小学校の給食費⇒ついに、市立小学校の給食費(保護者負担)が完全無償化されます!中学校の給食費も引き続き市が物価高支援を行います。

【新規】5歳児の健康診査がスタート⇒就学前のお子様の特性を早期発見し、適切な支援へつなげるため、新たに5歳児対象の健康診査を実施します。

【新規】小学生の「朝の見守り事業」を試行⇒小学校の始業前に、児童が安全・安心に過ごせる居場所を提供するための事業を試験的にスタートします。

【拡充】こども誰でも通園制度の実施⇒就労要件を問わず、月一定時間まで柔軟に保育所等を利用できる制度の受け皿を拡充します。



2 健康・福祉・生活の利便性

【新規】RSウイルスワクチン接種(母子免疫)⇒新生児の重症化を防ぐため、妊娠28週~36週の妊婦の方を対象に定期接種を新たに実施します。

【新規】認知症セルフチェックツールの導入⇒スマートフォン等で簡単にできるチェックツールを導入し、早期発見・受診につなげます。

【新規】孤独・孤立対策の推進⇒実態調査等を実施し、誰もが支援を求めやすい地域共生社会の基盤づくりを進めます。

【新規】学校集金が市民アプリで可能に⇒給食費や教材費の集金を「さいたま市民アプリ」経由で支払えるようになり、保護者の皆様の利便性が向上します。



3 安全で快適なまちづくり

【新規】公共施設のLED照明への更新⇒蛍光灯の製造中止に伴い、健康被害や環境汚染の防止、省エネ性能向上のため、自治会館等の照明をLEDへ計画的に更新します。

【拡充】次世代モビリティの推進⇒路線バスの自動運転化に向けた実証実験など、未来の移動手段の確保を進めます。



保健福祉委員会 議案外質問

～現場のリアルな声を、市政のど真ん中へ～

保健福祉委員会 議案外質問のご報告

今定例会の保健福祉委員会にて、さいとう健一が議案外質問に立ちました。市民の皆様の声を市政に届けるため、市の姿勢を正しました。



Q 「小児リハビリの空白」をなくしたい

健康福祉センター「ゆーぱるひざこ」のアクセス向上について無料送迎バスの春野コース途中で、高齢者の多い深作地区「深作自治会館前」への停車追加と、帰宅便・午後便の増発を求めました。

A 停車位置の追加は前向きに協議します。便数の増加は他コースとの調整を含め、効果的・効率的な運行を引き続き検討します。

Q 市民の健康づくりとフレイル（虚弱）予防

働き世代や子育て世代が参加しやすい健康づくり施策の拡充や、高齢者の口腔機能低下への早期介入、身近な場所で社会参加できる環境整備を求めました。

A 企業と連携した食育・運動の情報発信強化や、後期高齢者健診での口腔保健指導の開始など、社会参加を促す施策を総合的に推進します。



Q こころの健康と孤立・孤独対策

若年層のメンタルヘルス不調や高齢者の孤立を防ぐため、学校・地域・医療機関が一体となった支援体制の強化と、地域で孤立を防ぐ仕組みづくりを求めました。

A 令和7年度から「つながりサポーター」養成講座を開催し、誰もが支援を求める声を上げやすい社会・地域づくりを構築してまいります。



さいとう健一の視点

制度は皆様に活用されてこそ意味があります。貴重な税金がニーズに合っているか、教育・福祉の新規事業が現場で生かされているかを、私、さいとう健一がしっかりと確認してまいります。

そして、『子育てするならさいたま市』に加え、『健康づくりをするならさいたま市』と言えるまちづくりを力強く進めてまいります。

さいたま市議会議員 **さいとう健一**
の市政情報配信
←公式 HP



公明党 **さいとう健一**
さいたま市議会議員

皆様のご意見・ご要望をお気軽にお聞かせください。

さいとう健一

検索

ホームページ <https://k-saito.jp>

FAX : 048-611-7631

✉ saito@k-saito.jp